

8 学校病対策の強化

むし菌・近視・寄生虫・トラホーム等の学校病の撲滅には例年努力しているところであるが、治療対策を進めるとともに、予防対策を強力に進めなければならない。

これらの学校対策として、県内16ヶ所で、学校病予防講習会を開催し、関係者の理解を深めてその予防策の強化をはかった。

9 教職員の保健管理の強化

教職員の結核健康管理については、県内全教職員の間接撮影を実施し、有所見者に対しては、直接撮影をし、さらに、精密検査を要するものに対しては、面接指導をするなど、その管理と指導の強化をはかった。

結核疾患については、年々減少の傾向を示しているが、高血圧・心臓疾患および精神神経疾患が漸増の傾向にあるので、今後は、その管理が必要となる。

10 学校安全の徹底

安全指導の手びき書作成により、安全教育の普及および振興をはかる一方、県補助金による交通安全指導教具の整備をはかり、18市町村で30セットを設置した。これらの施設・設備の活用によって、安全教育の実践的指導訓練につとめた。

11 へき地学校保健の強化

へき地地区の学校保健の振興は、本県学校保健向上対策の重要な課題である。国庫補助による給水施設・学校風呂の設置および、へき地学校保健管理費による内容の充実ほか、専門医によるへき地学校巡回診療を実施し、へき地児童・生徒の健康状態の把握とへき地学校の保健のあり方を研究した。

第2節 学校保健

1 第2回東北・北海道学校保健・安全研究大会

昭和42年8月10・11日の2日間、郡山市福島県立安積女子高等学校において開催した。この大会は、第2回東北・北海道学校保健大会・第15回福島県学校保健研究大会および第3回福島県学校安全研究大会を併せて開催した。この内容は、県内はもちろん東北・北海道学校保健関係者 1,000名が参加し、表彰式、研究発表・講演・全体協議会・分科会協議会などがあり、学校保健の理解と深化に役立った。特別講演「学校における保健と安全の重点志向について」と題する東京大学教授須藤春一氏の講演は学校保健関係者および一般教員に対し、深い感銘をあたえるとともに、今後の本県学校保健はもちろん東北・北海道の学校保健の振興に役立った。

研究主題は「学級保健活動の進化をはかり、児童・生徒が日常における保健・安全の実践活動を活発にし、その習慣化をはかろう」とし、校長、保健主事、養護教諭など8領域15分科会に分かれて、各職域、それぞれの立場から研究発表ならびに研究討議がおこなわれた。なお、本大会に県内の学校保健功労者並びに学校保健および学校安全優良学校が表彰さ

れた。

2 関東・東北・北海道等学校環境衛生講習会

東日本の各県の都道県の学校薬剤師をはじめとする学校保健関係者を対象とする学校保健講習会を下記により開催した。

- 期日 昭和42年10月19・20・21日の3日間
- 会場 福島市飯坂町 東亜栄養化学工業株式会社
- 講師 文部省体育局学校保健課課長補佐 安田稲男
文部省体育局学校保健課専門員 元山 正
文部省体育局学校保健課文部事務官高岡浩二
日本学校薬剤師会会長 可児重一
日本学校薬剤師会副会長 永山芳男
- 参加者 学校薬剤師、校長、保健主事 256名
- 内容 講義・研究発表・研究協議

3 保健主事研修会

保健主事に対し、その職務内容についての研修会を開催した。

- 期日及び会場
昭和42年9月4日 棚倉町立棚倉小学校
" 9月7日 原町市立第一小学校
" 9月19日 郡山市立赤木小学校
" 9月20日 会津若松市立謹教小学校
" 9月26日 福島大学教育学部附属小学校
- 講師 福島県教育庁保健体育課保健係長 鈴木格也
日本学校安全会福島県支部主任 加藤 潤
- 内容 講義、研究協議
- 参加者数 759名

4 養護教員研修会

養護教員の職務内容について理解を深め、その資質の向上をはかるため下記の研修会を開催した。

- 期日及び会場
昭和43年2月8日 北会津庁舎3階会議室
" 2月9日 郡山市立橘小学校
" 2月15日 福島大学教育学部附属小学校
" 2月16日 榊町立榊中学校
- 講師 会津若松米山眼科医院長 米山高長
郡山 八木眼科病院長 八木陸夫
福島 福島県立医科大学教授 梶浦睦雄
富岡 木村眼科医院長 木村正道
福島県立医科大学附属病院小児科助教授 都 通彦
福島県教育庁保健体育課保健係長 鈴木檢也
日本学校安全会福島支部主任 加藤 潤
- 内容 講義・研究協議
- 参加者数 286名

5 高等学校保健関係者研修会

高等学校の保健主事、保健学習担当教員に対し、保健管理及び保健学習教材についての研修会を開催した。